

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和2年度)

施策コード	P2101
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	01.住み慣れた地域で住み続けられる福祉サービスの充実
施策の方針	<p>在宅で自立して地域で暮らし続けることを基本として、個々の住民がそれぞれの意志に基づき、ニーズに対応できる福祉社会を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型の在宅福祉推進サービスを充実する ・高齢者・障がい者の自立した生活支援のための環境整備を充実する 		

担当部署	主管課	福祉課
	関係課1	
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画並びに高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画を新たに策定し、他の計画同様PDCAサイクルによる評価と見直しを実施した。 ・高齢者等の自立支援として該当者に対し、おむつ購入・配食サービス・緊急通報等の整備を行っている。 ・生活管理短期宿泊事業は、基本的な生活習慣が欠如していたり対人関係が成立しないなど、社会適応が困難な高齢者に対し、一時的に養護老人ホームなどで日常生活の指導・支援を行う。
--------------	--

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R2事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	食の自立支援事業	13,579	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	実施	実施	実施	実施			実施	A
2	生活管理短期宿泊事業	0	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			実施	C
3	自立支援協議会運営事業	106	福祉課	障がい者等に対する支援のためのネットワーク構築	未実施	実施	実施	実施			実施	A
4	障害福祉サービス給付等(居宅支援・施設支援・就労支援等)	247,794	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	実施	実施	実施	実施			実施	A
5	介護保険事業(介護給付・予防給付)居宅サービス・介護予防サービス	1,034,783	福祉課	要介護(要支援)認定者に必要に応じたサービスの提供	実施	実施	実施	実施			実施	A
6	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	39,183	福祉課	要支援の方の維持改善率の上昇(%)	65	71	68	50			70	A
7	地域支援事業(包括的支援事業)	18,980	福祉課	定期的な地域ケア会議の実施	実施	実施	実施	実施			実施	A

8	市町村特別給付(おむつ購入費支給事業)	10,721	福祉課	要介護認定者におけるおむつ給付受給者割合(%)	33	38	38	42			45	B
9	障がい者への理解浸透や支援拡大	0	福祉課	障がい者への理解浸透のための活動、各種団体の連携	実施	実施	実施	実施			実施	A
10	在宅老人緊急通報体制整備事業	2,251	福祉課	一人暮らしの高齢者に対するサービスの提供	実施	実施	実施	実施			実施	A
11	高齢者及び障がい者住宅改造助成事業	0	福祉課	住宅改造費を助成	実施	実施	実施	未実施			実施	A
12	老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業	2,057	福祉課	対象団体に対し、管理運営の一部を助成、高齢者向けの料理教室	実施	実施	実施	実施			実施	A
13	重度心身障がい者医療費給付事業	23,749	福祉課	対象者に対する医療費助成	実施	実施	実施	実施			実施	A
14	補装具費支給事業	2,596	福祉課	対象者に対し、補装具費を助成	実施	実施	実施	実施			実施	A
15	自立支援医療【更正医療】給付事業	1,831	福祉課	対象者に対し、医療費を助成	実施	実施	実施	実施			実施	A
16	地域生活支援事業(障がい児タイムケア事業含む)	16,755	福祉課	対象者に応じたサービスの提供	実施	実施	実施	実施			実施	A
17	高齢者・障がい者虐待防止事業	40	福祉課	対象者に応じた柔軟な対応	実施	実施	実施	実施			実施	A
18												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルス感染拡大防止に伴いイベント等の自粛や感染の不安から対面での対応に苦慮されている。 ・ 【生活管理短期宿泊事業】急を有する場合、近隣の養護老人ホーム等の受け入れ可能かわからない。 ・ 【高齢者及び障がい者住宅改造助成事業】申請はあったが、課税世帯であったため、自己負担が生じ取下げとなった。相談・申請時に十分な説明が必要。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍にあり、新しい生活様式を取り入れた、安心して相談や手続きができる工夫を実施する。 ・ 【生活管理短期宿泊事業】包括支援センターや民生委員と連携を図り見守りを行うとともに、短期受け入れ可能な施設の確保を行う。 ・ 【高齢者及び障がい者住宅改造助成事業】広報紙等で十分な周知を行う。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	A
------	---

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和2年度)

施策コード	P2102
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	02.地域で福祉を支えるための組織・人材づくりと活動支援
施策の方針	<p>緊急時も平常時も地域で福祉を支えるための地域活動支援や人材育成を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での福祉活動支援を進める ・ 緊急時の支える仕組みを検討する ・ 地域で福祉を支える人材を養成する ・ 介護する家庭の支援を充実する 		

担当部署	主管課	福祉課
	関係課1	
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協委託により全地区でいきいきサロンを実施しており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえつつ、感染防止対策について職員による実施指導を講じながら事業を実施した。 ・ 八代市、郡市医師会と連携し、医療・介護・福祉により包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを継続して行う。 ・ 関係機関（民生委員、消防、警察など）に避難行動要支援者名簿の提供を行っている。
--------------	--

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R2事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	全地区でのサロンの設置・実施	549	福祉課	全地区のサロン実施推進	実施	実施	実施	実施			実施	A
2	老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業【再掲】	2,057	福祉課	対象団体に対し管理運営の一部を助成、高齢者向けの料理教室	実施	実施	実施	実施			実施	A
3	障がい者団体助成事業(身障者福祉会・手をつなぐ育成会等)	814	福祉課	交付事務の実施	実施	実施	実施	実施			実施	A
4	医療・介護・福祉関係者のネットワークの形成	97	福祉課	地域包括ケアシステムの構築	実施	実施	実施	実施			実施	B
5	在宅生活への支援、高齢者の見守り体制の確立	0	福祉課	行政、事業者、団体、住民などの関係者同士のネットワーク構築	未実施	未実施	未実施	未実施			構築	C

6	避難行動要支援者名簿の充実と個別計画の作成	176	福祉課	避難行動要支援者のデータ更新	実施	実施	実施	実施			実施	A
7	緊急時医療等情報カードの配置	0	福祉課	シルバーボランティア活動の支援	実施	実施	実施	実施			実施	A
8	福祉を支える人材の確保・支援	0	福祉課	人材を確保するための支援	未実施	未実施	未実施	未実施			実施	C
9	健康・福祉の地区の担い手の充実	0	福祉課	シルバーボランティア活動の支援	未実施	未実施	未実施	未実施			実施	C
10	福祉教育の充実	0	福祉課	福祉教育の推進	未実施	未実施	未実施	未実施			実施	C
11	在宅ねたきり老人等介護手当	0	福祉課	対象者に介護手当の支給	実施	未申請	未申請	未申請			実施	C
12	高齢者や障がい者を支える家族の支援	0	福祉課	養成事業に対する支援	未実施	未実施	未実施	未実施			実施	C
13												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・【在宅生活への支援、高齢者の見守り体制の確立】【福祉を支える人材の確保・支援】【健康・福祉の地区の担い手の充実】【福祉教育の充実】【高齢者や障がい者を支える家族の支援】民生委員や老人会等の活動に頼っており、一般住民を巻き込んだ活動に至っていない。 ・【在宅ねたきり老人等介護手当】受給資格、支給制限の部分で該当しない場合が多い。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・【在宅生活への支援、高齢者の見守り体制の確立】【福祉を支える人材の確保・支援】【健康・福祉の地区の担い手の充実】【福祉教育の充実】【高齢者や障がい者を支える家族の支援】各種団体や地域福祉計画等の委員会において、福祉の推進について検討する。 ・【在宅ねたきり老人等介護手当】制度について、定期的に広報紙に掲載するなど周知方法を工夫する。

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

施策の課題	・【老人福祉施設措置事業】養護老人ホームのニーズが高く入所待ちの状況となっているため、急を要する入所相談があった場合の対応が厳しい。
今後の施策展開	・【利用者に対する情報提供】近隣施設の空き状況の確認や、民生委員や包括支援センター職員と情報を共有し、対応が必要な人の早期発見に努める。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
B: 目標に向かってある程度進んでいる
C: 目標に向かってあまり進んでいない
D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	A
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【シルバー人材センター運営費補助事業】シルバー人材センターの会員数が増えない。希望する職種がない。 ・【各地区のまちづくり活動における高齢者の仕事の創出】各地区老人会の会員数が減少し活動に苦慮されている。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【シルバー人材センター運営費補助事業】多様な媒体を利用して、普及活動に取り組み、高齢者のニーズにマッチした就業機会の確保を図る。働くことを通じて、生きがいを得る。また、社会参加により活力のある地域社会をつくりだす。 ・【各地区のまちづくり活動における高齢者の仕事の創出】花いっぱい運動など手軽な活動の推進や、いきいきサロンなどの取組みとして検討する。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>A</p>
-------------	----------

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ役員が中心となり運営委員会を組織しているが、事業企画については町任せとなっている。また、コロナ禍での事業実施について、これまでの開催方法を見直す必要がある。
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業企画は、まずは事業の一部でも運営委員会で企画できるよう支援していきたい。令和3年度の事業実施については、感染リスクの低い講演形式の講座を中心に竜北地区・宮原地区に分け、少人数で実施する方向で進めていきたい。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------

【今後の方針】

施策の課題	・ 事業普及を進めるために、広報紙、ホームページ等への掲載方法の工夫が必要。
今後の施策展開	・ 補助対象施設に飲食店、美容室等も含まれるため、事業の普及に向けて、商工会と連携する。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	A
------	---

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和2年度)

施策コード	P2301
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	01.健康寿命延伸のための予防・健診(検診)体制の充実
施策の方針	子どもから高齢者まであらゆる世代の予防サービスを充実させる。 ・生涯を通じた適切な健康診断受診体制を充実させる ・予防活動を重視した健康推進活動を進める		

担当部署	主管課	町民課
	関係課1	福祉課
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・【乳幼児健康診査】医師をはじめ多職種（保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士、保育士、心理士）が連携し、乳幼児期の発達の確認、健康の保持増進を図っている。 ・【母子手帳交付】地区担当保健師と管理栄養士が個別指導を実施、ハイリスクの妊婦にはより継続した介入を行っている。 ・【住民健診】未受診者への働きかけの充実を図り、受診率向上につなげている。 ・【がん検診推進事業】子宮頸がん検診（20歳）乳がん検診（40歳）の節目年齢へのクーポン券発行を機に、正しい知識の普及とともに受診の定着を促している。 ・【特定保健指導・重症化予防事業】内臓脂肪の蓄積等に着眼した生活習慣病予防のための保健指導・栄養指導を重点的に実施している。 ・【歯科保健事業】乳幼児健診等での口腔保健の意識向上のためのポピュレーションアプローチ、保育園・小中学校でのフッ化物洗口により12歳の永久歯のむし歯予防の意識づけを行なっている。 ・【予防接種事業】乳幼児から高齢者までの定期予防接種について、県および市郡医師会の協力を得ながら実施している。
--------------	--

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R2事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	乳幼児健康診査	2,403	町民課	乳幼児健診受診率(%)	100	100	100	99			100	A
2	母子手帳交付・妊婦健康診査	4,883	町民課	低出生体重児の割合の減少 (%)	15.2	11	10	12.1			9.47以下	B
3	住民健診(若者健診・特定健診・後 期高齢者健診)	13,746	町民課	特定健診受診率(%)	55	55.2	55.6	50.5 (速報値)			60	B
4	がん検診推進事業(子宮・乳がん検 診)実施に関する業務	80	町民課	子宮頸がん受診率、乳がん受診 率(%)	18.5、 26.2	16.2、 23.7	16.8、 25.6	15.1、 20.9			20、 30	B

5	健診体制の整備と未受診者対策	607	町民課	特定健診受診率60%以上(%)	55	55.2	55.6	50.5 (速報値)			60	B
6	医療費適正化事業	1,419	町民課	ジェネリック医薬品数量シェア(%)	69.6	73.3	78.0	79.5			80	A
7	特定保健指導・重症化予防事業	5,238	町民課	当該年度の特定健診受診者のHbA1c7.0%以上の人の未治療者割合(%)	約10	6.7	5.3	2.3			10%未満	A
8	歯科保健事業(歯の祭典を含む)	578	町民課	3歳児のむし歯保有率(%)	22.2	28.3	20.9	7.0			20%以下	A
9	予防接種事業	34,656	町民課	MRⅡ期予防接種率(%)	95.1	100	92.1	89.7			100	B
10	一般介護予防事業	4,998	福祉課	介護予防教室の年間参加者数(人)	203	284	260	128			300	B
11	食生活改善推進員協議会支援	205	町民課	地区普及活動推進の継続	実施	実施	実施	実施			実施	A
12	メンタルヘルス相談事業	0	町民課	自殺率の減少(10万人中の自殺率)(人)	24.23	16.51	25.14	8.48			20	A
13												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・【がん検診推進事業】受診率が目標に達していない。引き続き受診しやすい検診体制をつくる必要がある。 ・【特定保健指導・重症化予防事業】対象者の明確化、地区担当制による保健指導を今後も継続して実施する。 ・【歯科保健事業】3歳児むし歯保有率が目標の20%以下に達した。今後も乳幼児歯科検診や歯科指導の充実をより一層図る必要がある。 ・【予防接種事業】MRⅡ期接種率が目標に達していない。今後も引き続き勧奨通知等による推進が必要。 ・【一般介護予防教室】コロナウイルス感染拡大防止のため、長期間活動自粛を行った。感染の不安から外出の機会も減り、介護度上昇の心配がある。 ・【メンタルヘルス相談事業】国や熊本県で設置されている相談窓口について、相談者が知り利用できるように、周知を充実させる必要がある。
今後の施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・各業務での保健指導について、対象者の個別性に対応した効果的で質の高い指導を提供していく。 ・【一般介護予防教室】対象者への電話による会話や運動の動機づけなど、新しい生活様式による取組みガイドラインを実践する。

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和2年度)

施策コード	P2302
-------	-------

【基本構想／施策の体系】

基本構想	2 福祉の未来	施策の体系	02.生涯スポーツ活動の推進
施策の方針	<p>生涯を通じて誰もがスポーツによる健康づくりを進められるよう、スポーツへの参加の機会やスポーツ施設の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じて誰もがスポーツによる健康づくりができる体制の充実を進める スポーツに親しむ機会の充実 スポーツ施設の充実 		

担当 部署	主管課	生涯学習課
	関係課1	総務課
	関係課2	
	関係課3	

【施策の現状】

施策の現状、 取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 【体育協会活動支援事業】 補助金5,740千円を交付するが、新型コロナウイルス感染症に伴う未実施事業費3,846千円については令和3年度に返納。(体育協会加入者は711名) 【住民のスポーツ活動推進】 体力テスト測定会：新型コロナウイルス感染症のため中止 (R1年度実績：24名参加) 【町民体育祭】 夏季、秋季、冬季大会の開催 <ol style="list-style-type: none"> ①夏季大会 開催に向けて実施について検討したが、新型コロナウイルス感染症のため中止 (R1年度実績：33地区館619名) ②秋季大会 開催に向けて実施について検討したが、新型コロナウイルス感染症のため中止 (R1年度実績：35地区館1,528名) ③冬季大会 開催に向けて実施について検討したが、新型コロナウイルス感染症のため中止 (R1年度実績：29地区館395名) 【地区スポーツ活動支援事業】 町民体育祭に向けた練習やニュースポーツの普及活動などに際し、地区館の要請に応じてスポーツ推進委員を派遣し支援する。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため活動できず、地区館派遣件数は0件。 【既存の身近なスポーツ施設の充実】 備品購入等により充実を図るが、令和2年度の備品購入はなし。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言などにより施設利用を停止した期間があったため、例年に比べ利用者数は減少したが、利用可能な時期の人数は概ね変化はない。 【拠点的スポーツ施設の整備】 宮原体育館は令和3年度熊本県民体育祭の試合会場となっており、アリーナ内の照明や床などを修繕し利便性の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症対策として照明や水洗、手洗い蛇口などをセンサー式の非接触型のものに置換し、活動時のリスクの軽減を図った。令和2年度の施設利用による感染拡大はなく、感染症対策としての効果が確認された。(一般修繕費：5,505千円 新型コロナウイルス感染症対策修繕費：2,383千円) 【多目的広場の整備】 防災公園のうち野津防災公園については、令和2年度に竣工・開園式を終了し供用を開始。宮原防災公園については、令和2年度より整備工事に着手し令和3年7月に開園となった。網道防災公園については、令和2年度で用地を取得済み。
------------------	--

【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R2事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	体育協会活動支援事業	1,894	生涯学習課	体育協会加入者数(人)	745	730	757	711			900	B
2	住民のスポーツ活動推進	0	生涯学習課	気軽にスポーツできる環境整備	実施	実施	実施	中止			実施	B
3	町民体育祭	0	生涯学習課	参加者数(人)	3,410	1,056	3,115	中止			3,500	B
4	地区スポーツ活動支援事業	0	生涯学習課	スポーツ推進委員派遣数(回)	2	0	0	0			5	C
5	既存の身近なスポーツ施設の充実	0	生涯学習課	施設利用者数(延べ人数)(人)	67,269	111,808	150,345	39,293			80,000	B
6	拠点的スポーツ施設の整備	7,888	生涯学習課	利用者のニーズに応じた拠点数 (箇所)	4	4	5	5			実施	A
7	多目的広場の整備	121,969	総務課	防災公園の運用	未整備	実施設計	工事・実施設計	実施			実施	A
8												

【今後の方針】

【評価指標】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・【町民体育祭】新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、町民体育祭は困難となり、すべて中止となった。開催方法の検討などを行い、大会の実施、一定の参加者数が維持できるように取り組む。 ・【地区スポーツ活動支援事業】地区館等のスポーツ活動について、スポーツ推進委員を派遣する事業であるが、グラウンドゴルフ等スポーツ推進委員の支援を必要としない活動が多いため、要望が無い状況である。地区館において、手軽にできるニュースポーツの開拓が必要である。 ・【既存の身近なスポーツ施設の充実】各施設の老朽化が見られるため、段階的に修繕を実施する必要がある。また、感染症対策として照明や水洗の自動化も推進していく必要がある。 ・【多目的広場の整備】災害発生時における一時避難場所としての車中泊等を考慮した場合、アクセス道路の拡幅等が今後の課題として考えられる。
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・【町民体育祭】大会実施に際し、従来の方法の見直しも含め、町民の継続的なスポーツ活動に結びつくような種目、プログラムの検討を行っていく。 ・【地区スポーツ活動支援事業】コロナ禍で多くの人を集める町民体育祭等は開催が困難であるため、地区館単位でできるニュースポーツを導入し、スポーツ推進委員を派遣して町民の健康増進の一助となる取り組みを目指していく。 ・【既存の身近なスポーツ施設の充実】施設の個別施設計画を策定し、施設の長寿命化を進める。また、施設の充実や運営の工夫等により、施設が最大限有効活用されるよう努める。 <p>【多目的広場の整備】大規模災害発生時は、一時避難場所や災害廃棄物の集積場としての機能を確保しつつ、平常時は地域住民の憩いの場所としてスポーツやレクリエーションができる公園として活用していく。令和2年度は、野津防災公園が竣工・開園、令和3年度は、宮原防災公園が竣工・開園となった。網道公園についても用地を取得済みであり、今後は計画的な整備を目指していく。</p>

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

施策の課題	・ 人権作品募集について、一般の部の応募者数がなかなか増えないため、周知方法等の検討が必要。
今後の施策展開	・ 人権作品及び人権啓発集会の応募・参加者を増やすため、周知方法を見直し、氷川町人権啓発推進協議会構成部会と連携を図っていく。

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---

【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・氷川町男女共同参画計画に沿った取り組みを実施するため、県の実施する研修会への積極的参加や懇話会委員との連携を図る必要がある。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・男女共同参画推進懇話会委員の男女共同参画社会に関する研修会や懇話会を開催し、推進していく。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる
 B: 目標に向かってある程度進んでいる
 C: 目標に向かってあまり進んでいない
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	
------------------	--